

「生きる」を奪うな。



ほたるの川の まもりびと

先行試写会
ツアー決定!!

入場無料
予約優先

半世紀もの間、ダム建設に抗いふるさとを守り続ける人々
美しい里山に暮らす13世帯を巡るドキュメンタリー

プロデューサー:山田英治、辻井隆行、江口耕三、監督:山田英治、撮影:百々新、編集:豊田洋、野崎健太郎、編集監修:安岡卓治、音楽:青空
制作:NPO法人 Better than today、2017年、日本、86分、デジタル、16:9、ドキュメンタリー、配給:ぶんぶんフィルムズ

patagonia CCGI GENTEMSTICK 0VONTI LLC Buena Books JOYH INC Better than today

ごく普通の暮らしを、ごく普通にしたい。

朝、子どもたちが学校に行く、父と娘がキャッチボールをしている、季節ごとの農作業、おばあちゃんたちがおしゃべりをしている。それは一見、ごく普通の日本の田舎の暮らし。昔ながらの里山の風景が残る、長崎県川棚町こうばる地区にダム建設の話が持ち上がったのが半世紀ほど前。50年もの長い間、こうばる地区の住民たちは、ダム計画に翻弄されてきました。現在残っている家族は13世帯。長い間、苦楽を共にしてきた住民の結束は固く、54人がまるで一つの家族のようです。ダム建設のための工事車両を入れさせまいと、毎朝、おばあちゃんたちは必ずバリケード前に集い、座り込みます。こんなにも住民が抵抗しているのに進められようとしている石木ダム。この作品には「ふるさと=暮らし」を守る、ぶれない住民ひとりひとりの思いが詰まっています。



石木ダム問題とは?

石木ダムの建設計画は、約半世紀前の1962年に持ち上がりました。事業の主体は、長崎県と佐世保市。ダムの目的は利水と治水。利水とは水道事業。人口減により水需要が年々減少しているにもかかわらず、佐世保市は数年後に「水の需要は増加する、だから必要だ」と主張している。また治水の面では、ダムによって川棚川の下流域の洪水を防ぐとしている。しかし、石木川は、注ぎ込む川棚川の流域面積の9分の1にすぎない。その川にダムをつくることで果たして治水に有効なのだろうか。地域住民はダム建設の根拠について、もう一度検証すべきだと思います。みなさんはどう考えますか?



詳しくはこちらから
<http://www.ishikigawa.jp>



ほたるの川のまもりびと

先行試写会特設ページ (ご予約フォーム)
<http://hotarunagasaki.strikingly.com/>
<https://www.facebook.com/savekobaru/>



ご予約フォーム
QRコード

長崎限定の先行試写会ツアー開催決定!

- 1/13(土) プラザおおむら (大村市)
18:30 開場 18:50 開演 **トーク決定**
- 1/14(日) フェアトレードカフェパオ (西海市)
13:30 開演
- 1/20(土) アルカス SASEBO (佐世保市)
13:00 開場 13:30 開演 **トーク決定**
- 1/21(日) 長崎チトセピアホール (長崎市)
13:00 開場 13:30 開演 **トーク決定**
- 1/27(土) 香崎市立一支国博物館 (香崎市)
13:30 開場 14:00 開演
- 1/27(土) 島原文化会館 (島原市)
13:00 開場 13:30 開演
- 1/28(日) 平戸文化センター (平戸市)
◎10:30 開場 11:00 開演 ◎13:30 開場 14:00 開演

入場無料
予約優先

オリジナル
ステッカー
先着でプレゼント

上映会後のトークショー 続々決定!!

- 1/13(土) 大村ゲスト
鎌仲ひとみ 監督
- 1/20(土) 佐世保ゲスト
山田英治 監督
辻井隆行 さん (パタゴニア日本支社長)
+ スペシャルゲスト予定
- 1/21(日) 長崎ゲスト
いとうせいこう さん
山田英治 監督
辻井隆行 さん (パタゴニア日本支社長)
その他もゲスト調整中!



ご予約 方法

左記の「先行試写会特設ページ参加ご予約フォーム」、またはメールかFAXにて、「お名前」「人数」「ご連絡先」「ご希望の会場」をご明記の上、ぶんぶんフィルムズ 上映部 までお申込みください。
①E-mail hotarunagasaki@gmail.com
②TEL 03-6379-3938 or FAX 03-6379-3928